

ミュージアム・コンサート

# Museum Concert

2022年8月13日(土) 14時~15時

演奏者

植田 ゆう子(ピアノ)

テーマ

芸術からの贈り物

= program. =

W. A. モーツァルト (1756-1791)

ピアノソナタ 二長調 KV311

F. シューベルト (1797-1828)

楽興の時

権代 敦彦 (1965- )

この口づけを全世界に

細川 俊夫 (1955- )

舞い

F. リスト (1811-1886)

巡礼の年 第1年 『スイス』より  
「オーベルマンの谷」



= 演奏者紹介 =

植田 ゆう子 (ピアニスト)

15歳最年少でオーストリア・ウィーン国立音楽演劇大学に入学。

2009年、ベルリンのフィルハーモニーコンサートホールに於いて、J. ハイドンのピアノ協奏曲を演奏。

2010年、ザルツブルグのミラベル宮殿にて演奏。

2010年、2013年、2019年、ドイツ・ベルリン日本大使館に於いてソロリサイタルを開催。

2016年、ウィーンにてソロリサイタルを開催。

2022年、ライプツィヒ、フェリックス・メンデルスゾーン・バルトルディ音楽演劇大学にて講演と演奏。

2009年、2015年、2016年、2019年、広島にてソロリサイタル

2016年、2018年、2019年、ひろしま美術館ミュージアム・コンサートに出演。

2013年、ウィーン国立音楽演劇大学大学院コンサートピアノ科修了。

2021年、ウィーン国立音楽演劇大学大学院音楽学部博士課程(PhD)修了。

2009年、広島市中村音楽奨学生。

2019年、国立音楽研究所(ベルリン)より奨学金を受給されベルリンにて研究。

これまでにピアノを石川晴美、前田麻紀、戸梶美穂、光井安子、J. Demus、S. Markarow、A. R. El Bacha、M. Hughes 各氏に、室内楽を T. Leopold、E. Kropfisch 各氏に師事。

現在、演奏活動を行う傍ら、海外の学会に於いて論文発表等を行っている。

安田女子大学・短期大学非常勤講師。



= 演奏者コメント =

コロナパンデミックで世の中が大きく変わり、色々と制限が加わった日々がいつしか当たり前のものになり、それまでどのような毎日を過ごしてきたのかも思い出せなくなる程、長く混沌の中にいました。バーチャルな世界に支配され、高文化と括られる、音楽、美術といったリアルな世界がなくとも、何ら不都合を感じさせない社会となりそうで怖いのです。

こんな時だからこそ、芸術家がひと筆に込めた息遣い、指先から紡ぎだせる感情のほとぼしりにしばし身を委ねてみてください。

